

雪中活動

雪・氷のランタンづくり

10

1 活動のねらい

雪や氷でランタンを作ります。制作活動を通して、雪の冷たさ、重さ、性質を知り、出来上がった作品で美しい夜のひとときを仲間と過ごします。また、仲間と共に制作活動をすることで、仲間と触れ合うことの楽しさを味わいます。

2 育てたい能力

B2 自然への関心 B3 まじめ勤勉 A6 視野・判断 A4 交友・協調
※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

3 活動場所

- ・見晴らし広場 ・すりばち広場 ※積雪状況や他の団体の活動内容によって調整し
- ・冒険広場 ・星空広場 等 ますので、ご相談ください。

4 活動時期

12月～2月 積雪時

5 所要時間

1時間～2時間

6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動

7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

- ・活動に適した服装 ・帽子 ・手袋 ・ローソク（耐風が望ましい） ・チャッカマン

【自然の家で貸し出しできるもの】

- ・バケツ ・スコップ ・カップ

8 活動の手順

(1) 事前

①自然の家職員と打ち合わせを行い、実地踏査で現地の状況を把握した上で計画を立てます。

②安全に活動するため、活動に適した服装についての事前指導を行います。

(2) 活動 ①～②および⑦～⑧は共通です。

①人数確認、服装の点検、健康状態のチェックをします。

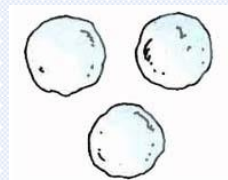
②用具を準備します。



③ランタンを作る場所を決め、ろうそくを立てるための穴を深さ1～2cmほど掘ります。



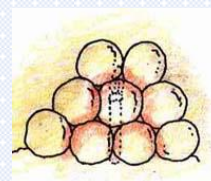
④雪玉を30個ほど作ります。



⑤ろうそくの穴を中心にして、周囲にろうそくが隠れる程度まで雪玉を積み上げていきます。



⑥雪玉の壁ができたなら、中にろうそくを立て、暗くなったら点火します。



⑦後片付けをします。
※必ず引率者が立ち会ってください。

⑧自然の家事務室に活動終了の報告をし、借用物品を返却します。
(破損等があればご連絡ください。)

雪玉ランタン

【ポイント】 ☆サラサラ雪で、雪玉が固まりづらい時は、少し水を含ませて、シャーベット状にすると固まりやすくなります。
☆雪玉を積む時には、ろうそくの火が風で消えるのを防ぐため、隙間を開けすぎないようにしてください。

③バケツに雪を入れ、真ん中が空洞になるよう押し固めます。

④バケツのふちに半円形の横穴を作ります。

⑤スノーキャンドルを置く場所を決め、バケツをひっくり返します。中央に穴を開けます。

⑥中にろうそくを立て、暗くなったら点火します。

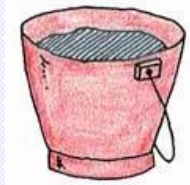


スノーキャンドル

【ポイント】 ☆サラサラ雪で、固まりづらい時は、少し水を含ませて、シャーベット状にすると固まりやすくなります。
☆置く場所は風向きに注意しましょう。

氷のランタン

③バケツに水を8分目くらいまで入れ、一晩外に置いておきます。



④外側だけ凍ったら、割らないように気をつけてバケツから氷を取り出します。

⑤取り出した氷の底の部分に穴を開けて、中の水を捨てます。



⑥氷の中央にろうそくを立て、暗くなったらろうそくに点火します。



【ポイント】 ☆水を入れすぎると凍った時に、バケツが割れないように気をつけてください。

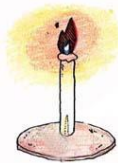
☆バケツは金属製が望ましいですが、プラスチック製でも構いません。

☆気温や天候によっては一晩ではなかなか凍らない場合があります。状態を見て、あと1～2晩外に置いて凍るのを待ちます。

☆氷を取り出す時、バケツの外側に熱湯をかけると取り出しやすいです。

☆ろうそくを立てるため、木片や段ボールに釘を刺しておくとう便利です。

☆ろうそくが密閉されると、火が消えてしまうので、空気が通るように工夫しましょう。



9 留意点

- ・活動に使用した道具は、責任をもって返却してください。
- ・強風により火が草木に燃え移る恐れのある場合には、火を消してください。

10 参考

*雪灯籠づくりや雪像づくりもできます。



【ポイント】 ☆結構な体力を使います。汗をかくので、着脱しやすい服装が望ましいです。

☆風の強い日等は、ろうそくに火がつきにくいので、構造を工夫する必要があります。